

ネットワーク型学習コンテンツの現状と課題  
教育情報ナショナルセンターが提供する日本音楽関連素材の分析を通じて  
京都女子大学発達教育学部児童学科 深見友紀子  
京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター 竹内有一

以下の2つは、教育情報ナショナルセンターが提供する日本音楽関連素材を使った指導事例です。

**コンテンツ** 囲んでいるのはプレゼンテーションをする予定のコンテンツです。

### 指導事例1

タイトル：箏とその音楽に親しもう - 「六段の調」から現代邦楽まで -

教科書：日本の楽器の響き 箏曲「六段の調」（教育芸術社 2・3上、P39）

テーマ：過去から現在まで、箏を用いた音楽がどのように変遷し、それが現在どのように受け入れられているか、また、西洋の音楽や文化との共通点や相違点、それらから受けた影響等について考える。

留意点：「六段の調」の詳細については教科書の記述程度で十分であると思われる。それよりも、箏という日本の楽器、あるいはそれを用いた日本音楽の流れや現代性といったことにより広く関心を持つほうが、教育的効果が大きいと思われる。

#### 1 箏とその音楽に親しむ

よく知られている楽曲の演奏コンテンツを使って、楽器の音や弾き方、メロディなどを確認し、生徒一人ひとりの箏に対するイメージを確認する。

箏の音をどこでどういう時に聴いたかよく思い出して述べさせることでイメージを共有する。

#### コンテンツ1

mpg【演奏「さくらさくら」（箏）】（和楽器 弾く楽器 箏（こと））

国際的にも有名な『さくらさくら』は箏曲の入門曲です。「咲（さい）た桜」の替え歌で、明治21年（1888）発行の文部省音楽取調掛撰『箏曲集』において、現在の「さくらさくら・・・」の歌詞に改められ『桜』と題されました。[千葉優子]（演奏／桜井智永）

#### コンテンツ2

mpg【演奏「六段の調べ」(箏)】和楽器 弾く楽器 箏(こと)

八橋検校作曲。中世の寺院雅楽から箏伴奏の歌曲が成立しました。江戸初期の盲人音楽家・八橋検校(やつはしけんぎょう:1614~85年、検校は盲人の最高官位)はそれまでの箏曲を改革して今につながる芸術音楽としての箏曲の形を作り上げました。[千葉優子](演奏/桜井智永)

### コンテンツ3

mpg【演奏「春の海」(箏と尺八)】和楽器 弾く楽器 箏(こと)

宮城道雄作曲。代表的な流派に生田流と山田流があり、生田流の宮城道雄(1894~1956)は西洋音楽の要素を導入し、箏と尺八の二重奏曲『春の海』(昭和4年、1929)など現代邦楽への橋渡しとなる新しい箏曲を作りました。[千葉優子](箏/桜井智永、尺八/加藤秀和)

## 2 箏の特徴を探る

楽器の基本的な仕組みや調弦の仕方を概観し、箏ならではの演奏法(コンテンツ3)にも着目する。弦の数や材質等は、クイズ形式で提供する。

最後に教科書の記述を参考にしながら、CDまたはビデオで「六段の調べ」を鑑賞する。

### コンテンツ1

jpg【楽器 箏(こと)のかたち】(和楽器 弾く楽器 箏(こと))

箏(こと)は、桐材のかまぼこ型をした長い胴の上に13本の弦を張った弦楽器で、長さはいろいろありますが、154~194cmくらいのものが一般的です。元来は、奈良時代に中国から伝来した雅楽で用いられた楽器です。[千葉優子]

### コンテンツ2

mpg【楽器 箏の調弦の仕方】(和楽器 弾く楽器 箏(こと))

各弦に柱(じ、箏柱「ことじ」とも言う)を立てて、その位置の調節によって音高を定め、右手の親指・人差し指・中指にはめた爪(箏爪)で弾きます。爪は生田流の角爪や山田流の丸爪など流派によって異なります。[千葉優子]【説明静止画:爪と柱】

### コンテンツ3

mpg【演奏 箏のさまざまな奏法】(和楽器 弾く楽器 箏(こと))

右手親指の爪で奏者の手前から向こうへ弦を弾く形が最も基本的で、次に人差し指と中指の爪で奏者の向こうから手前に向けて弾く形を多く使います。[千葉優子](演奏/桜井智永)

### コンテンツ4

jpg【楽器 箏の調弦譜】和楽器 弾く楽器 箏(こと)

箏は弦の下の箏柱(ことじ)を動かすことで調弦します。柱(じ)の位置により弦の振動する部分の長さを変えて音高を変化させているのです。近年では絹に替わり、合成繊維の弦も多く使われるようになりました。

CDまたはビデオ「六段の調べ」(教科書会社制作等の市販品を利用)

## 3 箏と近現代

再度「春の海」を提示し、その作曲年代を、クイズ等をつかって生徒に認識させる。古典

的なイメージの定着しているこの曲が実は昭和初期の作品であることを再確認し、同時代の西洋音楽や日本文学との比較、社会情勢等も視野に入れる。

その他の近現代の演奏コンテンツを紹介しながら、新しい創作・演奏の場が継続的に生み出されていることを理解し、日本および西洋の古典音楽と、現代邦楽との比較を行ったり、その共通点と相違点を洗い出したり、音楽や文化における伝統とは何か、時代を経て変わるものと変わらないもの等をテーマに意見交換する。

比較や議論の視点例：

- ・「春の海」をピアノやバイオリンで弾いたらどうなるか？ 作曲者自身もバイオリン編曲をしている。ピアノ譜も出ているので、教室のピアノ等で演奏も可能。
- ・箏曲の「段もの」と西洋の変奏曲との比較。
- ・コンテンツ3・4と西洋オーケストラとの音楽的な類似点の比較。リズム、和声感、指揮者など。
- ・同上の音楽面以外の比較。演奏者の着衣が聴き手に与えるイメージは？ クラシック、ポピュラーなど、さまざまな分野との比較検討が可能。

#### コンテンツ1

mpg【演奏「春の海」（箏と尺八）】和楽器 弾く楽器 箏（こと）

#### コンテンツ2

mpg【演奏「瀬音」（箏と十七弦）】和楽器 弾く楽器 箏（こと）

宮城道雄作曲。近年、新しい創作のために弦数を増した多弦箏が開発されています。宮城道雄は大正10年（1921）に低音用の箏として十七弦を発表しました。[千葉優子]（箏 / 桜井智永、十七弦 / 久本桂子）

#### コンテンツ3

mpg【演奏「組曲・人形風土記～ニボボ」】(和楽器 芸能と楽器 新しい音楽の試み)

（作曲 / 長澤勝俊、指揮 / 田村拓男、演奏 / 日本音楽集団）伝統的な和楽器の演奏では指揮者がいませんが、新しい楽曲の演奏には指揮者が参加する場合があります。新しい楽曲は西洋音楽の五線譜を使って作曲・演奏されることもあります。

#### コンテンツ4

mpg【演奏「子供のための組曲～第五章」】(和楽器 芸能と楽器 新しい音楽の試み)

（作曲 / 長澤勝俊、指揮 / 田村拓男、演奏 / 日本音楽集団）新しい和楽器の楽曲には、伝統的な和楽器だけを用いるもの、改造した楽器を使うもの、他の国々の楽器との合奏やオーケストラへの参加など、さまざまなかたちがあります。

## 指導事例2

タイトル：文楽の魅力に親しもう

教科書：日本の伝統芸能 文楽（2・3下、P36-37）

テーマ：文楽（人形浄瑠璃）の三つの職掌である太夫、三味線、人形、それぞれについて表現の特色に親しみ、三つの共同作業によって成立する総合的舞台芸術への理解を深める。

留意点：能・文楽・歌舞伎のような総合的芸術の場合、とくに実際の公演の場の空気（雰囲気）を体験することが何より大切である。校外学習や課外活動との連携等を活用したい。

## 1 文楽の舞台の概説

実際の公演を収録したコンテンツ1・2をみて、文楽のイメージをつかむ。太夫と三味線の演奏する「床」は両コンテンツでは映っていないので、コンテンツ3・4も併用して、実際の舞台の状況を確認しながら、さまざまな独自の工夫を理解する。

### コンテンツ1

mpg【三大名作1～菅原伝授手習鑑】菅原道真を主人公とし、筑紫に流され憤死の後、藤原時平に復讐を果たすまでを描く。四段目「寺子屋の段」は、道真公に恩を受けた松王丸が道真の子の身代わりに我が子を差し出す（桶の中に首）という悲劇の場面。

### コンテンツ2

mpg【近松3～冥途の飛脚】飛脚問屋の養子忠兵衛が遊女梅川の身請のために公金に手をつける場面。その後二人は故郷の大和・新口村（にのくちむら）に逃れる。忠兵衛の実父孫右衛門は、迫る追っ手から二人を逃がし、涙ながら後を見送る。

### コンテンツ3

jpg×3【文楽の劇空間】【語りの力】【人形の魅力】（文楽（人形浄瑠璃）入門 概要 文楽とは何か）

### コンテンツ4

mpg×3【客席と舞台】【床】【船底】（文楽（人形浄瑠璃）入門 舞台 舞台の構造）

## 2 ひとりで何役？ 太夫の懐深さを味わう

語りの表現を収録したコンテンツが充実しているので、これらをクイズ形式で活用する。

下記のカテゴリーと、それに対応するコンテンツ（太夫の語り）を、生徒たちの想像力によって結びつけるように導く。組み合わせを少しずつかえたり、ヒントを与えたり、語りのまねをしたりして、楽しみながら進めたい。また、文楽以外の芸能や演劇、テレビドラマ等での表現も思い出しながら、表現の共通点や相違点を比較してみたい。

下記のコンテンツは、太夫と三味線のための収録なので、各コンテンツに対応する作品の人物を描いた錦絵や、当該作品の人形がうつる舞台写真を、書籍やインターネットで探してきて援用すると効果的である。

コンテンツ7・8はかなり繊細な表現であるが、映画やテレビドラマ等でも同様の深みのある表現を行うことがあるし、われわれの日常生活でもそういう場面があり得るものである。日頃の「取材」を心がけて授業に活用したい。

コンテンツ9は作品や詞章の内容を補足説明しないとわかりにくいかもしれないので省略可。

#### カテゴリー 1

武士（コンテンツ1）

お姫様（コンテンツ3）

町人・男（コンテンツ2）

町人・女（コンテンツ4）

#### カテゴリー 2

笑い・天下をねらう悪人（コンテンツ5・6）

喜び転じて泣く（コンテンツ7）

心で泣きながら笑う（コンテンツ8）

（驚く男・泣く女・驚く老人が少しずつ連続で（コンテンツ9））

#### コンテンツ 1

mpg【太夫の語り1～時代物の男性】（文楽（人形浄瑠璃）入門 語り手～太夫（たゆう） 語り手～太夫（表現））

時代物は、誇張され様式化され、武士は武士「らしく」語る。大げさに聞こえるが、この表現だからこそわが子を身代わりとして殺さざるを得なかった武將熊谷直実の苦しい胸中が浮かび上がってくる。「熊谷陣屋」

#### コンテンツ 2

mpg【太夫の語り2～世話物の男性】

世話物の表現は、時代物よりリアルでテンポも早い。近松の「冥途の飛脚」に出てくる忠兵衛は、馴染みの遊女を身請けするために公金に手をつける。思わずかっとなり大罪を犯す主人公の若さが、表現されている。

#### コンテンツ 3

mpg【太夫の語り3～時代物の女性】

着物を着たお姫様の例。義太夫では、お姫様らしく上品に聞かせるためには、現実の女性の真似をするのではなく、自分の地の声で、間（ま）やテンポを工夫しながら、それらしく語らなければならない。

#### コンテンツ 4

mpg【太夫の語り4～世話物の女性】

世話物の女性の例。夫の帰りをじっと待つ若い女房・お園の苦しい心情が切々と語られる。語りだけでなく三味線の音色も、女の純粋な優しい心を表現していて語りを補う。「艶容女舞衣（はさすがたおんなまいぎぬ）」

#### コンテンツ 5

mpg【太夫の語り5～笑い1】（文楽（人形浄瑠璃）入門 語り手～太夫（たゆう） 語り手～太夫（技法））

時代物の笑い。天下を狙う悪人の不敵な笑いが、はじめはゆっくりしたテンポで表現され、不気味な人物像を表わしている。「菅原伝授手習鑑」の時平

#### コンテンツ 6

#### mpg【太夫の語り6～笑い2】

時代物の笑いの続き。徐々に笑いの間隔が狭まって行き、最後にひときわ大きな笑いとなる。不気味さに加えてその人物スケールの大きさを誇張して表現している。「管原伝授手習鑑」の時平

#### コンテンツ7

#### mpg【太夫の語り7～泣き1】

恩ある人のためにわが子を身代わりとして殺さなければならなかった苦しい胸中。わが子が立派にその役目をしおおせた事にほっとして、それまでの緊張がゆるむが、すぐに悲しみへと変わる。「管原伝授手習鑑」の松王

#### コンテンツ8

#### mpg【太夫の語り8～泣き2】

最愛のわが子を失った悲しみに、声を上げて泣きたい気持ちを抑え、松王は笑いに紛らす。高度な表現方法が語り手に要求される場面である。「管原伝授手習鑑」の松王

#### コンテンツ9

#### mpg【太夫の語り9～語り分け】

浄瑠璃の内容を的確に伝えるため、声のテンポや高低を変えて語り分けをしている例。寝込みを襲われ驚く男、捉えられ泣き崩れる女、突然のことに驚く老人と語り分けている。「伊賀越道中双六」沼津の段

### 3 舞台裏を覗く 太夫（教科書の補足）

太夫の舞台道具や姿勢などについて教科書に記述されているので、さらに下記のコンテンツを活用してより立体的な理解をうながす。

#### コンテンツ1

mpg【太夫の姿勢1～腹帯（はらおび）】（文楽（人形浄瑠璃）入門 語り手～太夫（たゆう） 語り手～太夫（こしらえ））

#### コンテンツ2

mpg【太夫の姿勢2～オトシ】同上

#### コンテンツ3

mpg【太夫の姿勢3～すわり方】同上

### 4 三味線 繊細な表現力

語りだけでなく、三味線の旋律や音色が、カテゴリーに示したようなさまざまな情景描写や心情をあらわすことがある。そうした事例を、コンテンツによって理解し、興味を深める。

3と同様、単に解説するだけでなく、クイズ形式を取り入れながら、生徒の関心を引きつけるように工夫したい。クイズに使用するコンテンツの組み合わせは、カテゴリーや音の特徴を事前によく確かめて、難易度を考慮しながら、さまざまに組み合わせたい。

情景や心理の特徴が、三味線のどのところに表れているのか、いないのか、感想を

述べ合う。また、文楽以外の音楽では、似たような表現法があるか、ないか、考えてみる。

## カテゴリー

情景・風（コンテンツ1）

情景・鐘（コンテンツ2）

心理・男の泣き（コンテンツ3）

心理・女の泣き（コンテンツ4）

心理・悲しみ（コンテンツ5）

心理・喜び（コンテンツ6）

### コンテンツ1

mpg【三味線の表現1～情景1風】（文楽（人形浄瑠璃）入門 三味線 三味線（表現））

柳の枝がかすかに揺れ、生暖かい風がどこからともなく吹いて来る。幽霊でも現れそうな気味の悪い雰囲気、三味線の音色だけで現している。

### コンテンツ2

mpg【三味線の表現2～情景2鐘】

遠くの方からゴーンとかすかに聞こえてくる鐘の音と、近くで何か事件が起きそうな気配を感じさせる鐘の音。浄瑠璃の文章に書かれている情景を、聴覚的に表現する効果音の一種である。

### コンテンツ3

mpg【三味線の表現3～心理1泣き：男】

男の泣き方。女の泣き方に比べて、低い音階で間（ま）を大きくとって悲痛な男の泣き方を表現している。

### コンテンツ4

mpg【三味線の表現4～心理2泣き：女】女の泣き方。音の高低や強弱、間（ま）の変化で、同じ旋律ながら男女の泣き方の違いを弾き分けている。

### コンテンツ5

mpg【三味線の表現5～心理3哀しみ】

わが子の死を悼んで、夫婦が野辺の送りをする場面。繊細な撥捌きとツボを押さえる左指を微妙に振動させることで音に余韻と幅をもたせ、哀切きわまりないこの場の状況を的確に表現している。

### コンテンツ6

mpg【三味線の表現6～心理4喜び】

信心深い夫婦の祈りによって奇蹟が起こり、病が癒えた時の喜びを表わす。三味線が派手な旋律を明るく弾き、互いに喜び合う夫婦の心情を文章以上に表現している。

## 5（補足的学習）三味線の種別による表現の差異

文楽の三味線（コンテンツ1・4）をきっかけに、他の三味線（コンテンツ2・3）との違いを意識する。

### コンテンツ 1

mpg【三味線の種類 1～太棹ふとざお】（文楽（人形浄瑠璃）入門 三味線 三味線（役割と楽器））

### コンテンツ 2

mpg【三味線の種類 2～中棹ちゅうざお】

### コンテンツ 3

mpg【三味線の種類 3～細棹ほそざお】

### コンテンツ 4

mpg【太棹の特徴】

## 6 （補足的学習） 人形遣いのチームワーク

教科書における三人遣いの説明を踏まえ、コンテンツの映像を活用してさらに理解を深める。どうして一人でなく三人で行っているのか、について、以下のコンテンツの映像を見る前に、想像しながら議論を行うのもよいだろう。

### コンテンツ 1

mpg【三人遣い 1～主遣い(おもづかい)】（文楽（人形浄瑠璃）入門 人形 人形（うごき））

### コンテンツ 2

jpg【三人遣い 2～舞台下駄】

### コンテンツ 3

mpg【三人遣い 3～左遣い(ひだりづかい)】

### コンテンツ 4

mpg【三人遣い 4～歩く】

### コンテンツ 5

mpg【三人遣い 5～拾う】

### コンテンツ 6

文楽（人形浄瑠璃）入門 人形 人形（かたち）

文楽（人形浄瑠璃）入門 人形 人形（こしらえ）

6 中のいくつかのコンテンツも必要に応じて使用する。人形は、その仕組みや動きといった工芸的な視点からも、生徒の興味を惹きやすいだろう。